記者発表資料

平成２７年　７月１６日
東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

［田瀬ダム］湖面が赤褐色に見える現象が発生
～貯水池の巡視等、監視体制を強化します～

田瀬湖において、流入河川の一部で水面が赤褐色に見える現象（淡水赤潮）が発生しました。
田瀬湖で貯めている水は、かんがい用水、発電で利用され、ダム下流の河川では、水道水としても利用されていますが、現在の所、水利用への影響は生じておりません。
引き続きダム貯水池の監視を強化するとともに、関係機関と情報共有して参ります。

〇発生経緯

７月１５日：巡視により、田瀬大橋上流部において、水面が赤褐色に見える現象を発見
発生箇所の水を採取し、水質分析を依頼
７月１６日：引き続き、田瀬大橋上流部において、水面が赤褐色に見える事を確認
（ダム堤体周辺での発生は見られない）
水質分析結果により、原因物質が判明。

〇分析結果

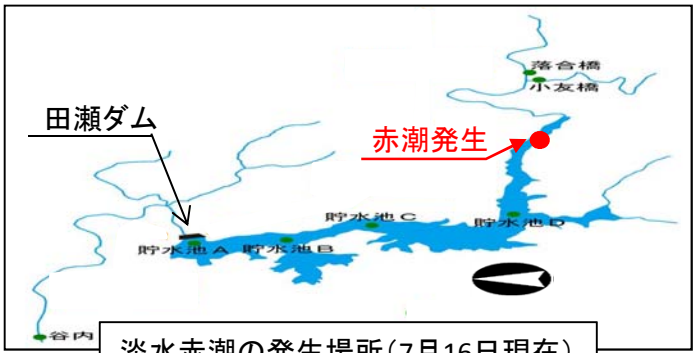
渦鞭毛藻綱のペリディニウム属（*Peridinium sp.*）が優占種としてみられた。
※ペリディニウム：淡水赤潮を形成する一般的な藻類

今回確認された種は、定期水質調査でも確認されている種であり
毒性物質を生成するものではなく、人体に影響を及ぼすものではありません。

※淡水赤潮
湖沼やダム湖などの淡水域で特定のプランクトンが大発生し表層水中に集積する事によって水が赤色味を帯びて変色する現象

〇現在の状況

・取水障害は発生しておりません。
・随時、関係機関（ダム利水者、河川管理者、水道管理者）との情報共有を実施します。
・引き続き貯水池の巡視、監視体制を強化します。



淡水赤潮の発生場所（7月16日現在）


淡水赤潮の状況（7月15日撮影）

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123　盛岡市下厨川字四十四田１番地
（代表TEL：019-643-7831）
副所長　　大入（オオイリ）　敏夫（トシオ）　（内線 205）
管理第一課長　　田中（タナカ）　誠（マコト）　（内線 331）